



Agilent 5977E GC/MSD

データシート



GC/MSD

Agilent 5977E GC/MSD は、ルーチン分析で優れた価値を発揮するシステムです。このシステムは、Agilent 7820A GC、Agilent 5977A シリーズ GC/MSD、PC、プリンタ、ソフトウェア (Classic ChemStation および MassHunter Data Analysis による MassHunter 採取) で構成されています。オプションの Agilent 7693A オートサンプラと 150 バイアルトレイ、または 7650A 50 バイアルオートサンプラを追加し、生産性を高めることも可能です。

質量選択検出器

イオン源のタイプ	EI、ステンレススチール (標準)、150~350 °C
マスフィルタ	石英一体型、双曲型四重極、106~200 °C
質量範囲	1.6~1,050 u
検出器	トリプルアクシスディテクタ HED-EM、長寿命 EM 付き
スキャンレート	ステンレスイオン源で最高 12,500 u/s、 オプションのエクストラクタイオン源で最高 20,000 u/s
ポンプシステム	ディフュージョンポンプ、あるいはターボ分子ポンプ

Agilent GC/MSD MassHunter と MSD ChemStation Data Analysis

SIM/スキャン	同時 SIM/スキャンおよびオート SIM 設定
アプリケーションオートチューン	ワンクリックオートチューン、BFB、DFTPP 用
スペクトルライブラリ (オプション)	NIST、Wiley、Pfleger-Maurer Drug、Stan Pesticides



Agilent Technologies

Agilent 7820A GC

ガスクロマトグラフ

注入口	スプリット/スプリットレス (標準)
S/SL 注入口	最高動作温度 400 °C 圧力範囲 : 0~60 psi 最高スプリット比 : 250:1

カラムオープン

使用可能温度範囲	室温 +8 °C~425 °C (200 V 仕様)
温度設定精度	1 °C
温度プログラミングランプ	5

加熱ゾーン

個別加熱ゾーン	全部で 5 つ (注入口 2、検出器 2、補助 1)
エレクトロニック ニューマティクス コントロール (EPC)	すべての注入口および GC 検出器に対応
検出器	MSD のほかに 1 つの検出器に対応
使用可能な検出器	フレームイオン化検出器 (FID)、熱伝導 度検出器 (TCD)、窒素リン検出器 (NPD)

寸法・重量

GC 寸法	49 cm (高さ) x 56 cm (幅) x 51 cm (奥行き) 平均重量 50 kg
MSD 寸法	40.8 cm (高さ) x 29.8 cm (幅) x 54 cm (奥行き) 平均重量 39 kg データシステムとプリンタ用のスペース が別途必要

設置点検仕様

EI SIM IDL (ヘリウムキャリアガスと オートサンブラ)	ステンレススチールイオン源で 40 fg 以下 IDL は、100 fg OFN の 8 回連続 スプリットレス注入の面積精度と <i>m/z</i> 272 のモニタリングにより、 信頼度 99 % で統計的に算出。
EI スキャン S/N (ヘリウムキャリアガスと マニュアル注入)	ステンレススチールイオン源で S/N が 100:1 以上 S/N は、1 pg/μL OFN 標準 1-μL 注入、 50~300 u のスキャン、 <i>m/z</i> 272 の モニタリングにより測定。

詳細

アジレント製品とサービスの詳細については、アジレントのウェブサイト www.agilent.com/chem/jp をご覧ください。

www.agilent.com/chem/jp

アジレントは、本文書に誤りが発見された場合、また、本文書の使用により付随的または間接的に生じる損害について一切免責とさせていただきます。

本資料に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2013
Printed in Japan
January 31, 2013
5991-1839JAJP



Agilent Technologies